

官報號外 昭和十三年二月二日

○第七十三回 貴族院議事速記録第八號

昭和十三年二月一日(火曜日)午前十時十九分開議

議事日程 第八號

昭和十三年二月一日
午前十時開議

第一 國務大臣ノ演説ニ關スル件(第
七日)

第二 民法中改正法律案(政府提出)
第三 民事訴訟法中改正法律案(政府
提出)

第四 外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法
中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五 特許法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 商標法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 不正競争防止法中改正法律案
(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 辨理士法中改正法律案(政府提
出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 報告ヲ致サ
(丸龜書記官朗讀)

去月三十日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出
セリ

特許法中改正法律案可決報告書
商標法中改正法律案可決報告書
不正競争防止法中改正法律案可決報告書
辨理士法中改正法律案可決報告書

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通第七十三回帝
國議會政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ
受領セリ

拓務省所管事務政府委員
朝鮮總督府鐵道局長 吉田 浩君

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 是ヨリ本日
ノ會議ヲ開キマス、日程ヲ變更シテ日程第
一ヲ最後ニ廻シ、日程第二「民法中改正法
律案、日程第三「民事訴訟法中改正法律案、
日程第四「外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法
中改正法律案、政府提出、第一讀會、是等
ノ三案ヲ一括シテ議題トナスコトニ御異議
ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナ
ト認メマス、久山政務次官

〔左ノ提出文及法律案ハ朗讀ヲ經
サルモ参照ノタメ茲ニ載錄ス以下

ム

第七十七條中「一週間内ニ」ヲ「主クル事
務所ノ所在地ニ於テハ二週間、其他ノ事
務所ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ」ニ改
ム

スコトヲ要ス

民法中改正法律案

第九十七條ノ二 意思表示ハ表意者カ相
手方ヲ知ルコト能ハス又ハ其所在ヲ知
ルコト能ハサルトキハ公示ノ方法ニ依
リテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ公示ハ公示送達ニ關スル民事訴
訟法ノ規定ニ從ヒ裁判所ノ掲示場ニ掲
示シ且其掲示アリケルコトヲ得

昭和十三年一月二十九日

内閣總理大臣 公爵近衛 文麿

司法大臣 鹽野 季彦

民法中左ノ通改正ス

第四十五條第一項ヲ左ノ如ク改ム
法人ハ其設立ノ日ヨリ主タル事務所ノ
所在地ニ於テハ二週間、其他ノ事務所
ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ登記ヲ爲
スコトヲ要ス

同條第三項中「一週間内ニ」ヲ「其事務所
ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ」ニ改ム

第四十六條第二項中「一週間内ニ」ヲ「主
クル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間内ニ」
ニ改ム

第四十八條第一項ヲ左ノ如ク改ム
法人カ主タル事務所ヲ移轉シタルトキ
ハ舊所在地ニ於テハ二週間内ニ移轉ノ
登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ三週間内
ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ
爲シ其他ノ事務所ヲ移轉シタルトキハ
舊所在地ニ於テハ三週間内ニ移轉ノ登
記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ四週間内ニ
ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲
スコトヲ要ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行前ニ登記事由ノ生ジタル場合ニ
於テハ其ノ登記ノ期間ハ仍從前ノ例ニ依
ル

第百七十四條ノ二 確定判決ニ依リテ確
定シクル権利ハ十年ヨリ短キ時效期間
ノ定アルモノト雖モ其時效期間ハ之ヲ
十年トス裁判上ノ和解、調停其他確定
判決ト同一ノ效力ヲ有スルモノニ依リ
テ確定シタル権利ニ付亦同シ

前項ノ規定ハ確定ノ當時未タ辨濟期ノ
到來セサル債權ニハ之ヲ適用セス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
本法施行前ニ登記事由ノ生ジタル場合ニ
於テハ其ノ登記ノ期間ハ仍從前ノ例ニ依
ル

第百七十四條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ

確定シタル權利ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前時效ノ完成シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

民事訴訟法中改正法律案

右 勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス
昭和十三年一月二十九日

司 法 大 臣 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣 公爵近衛 文麿
鹽野 季彥

民事訴訟法中改正法律案

民事訴訟法中左ノ通改正ス

第百七十八條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ訴訟ノ遲滯ヲ避クル爲必要アリト認ムルトキハ申立ナキトキト雖公示送達ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第百八十條第一項但書中「第百七十八條第二項」ヲ「第百七十八條第三項」ニ改ム

第百三十六條第一項中但書ヲ削リ同項

ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
訴ノ取下ハ相手方カ本案ニ付準備書面ヲ提出シ、準備手續ニ於テ申述ヲ爲シ又ハ口頭辯論ヲ爲シタル後ニ在リテハ相手方ノ同意ヲ得ルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

同條ニ左ノ二項ヲ加フ
第三項但書ノ場合ニ於テ相手方カ期日ニ出頭セサルトキハ口頭辯論又ハ準備手續ノ調書ノ謄本ヲ之ニ送達スルコトヲ要ス
訴ノ取下ノ書面ノ送達アリタル日ヨリ三月内ニ相手方カ異議ヲ述ヘサルトキ

本法施行前ニ開始シタル強制執行ニ付テ
ハ訴ノ取下ニ同意シタルモノト看做ス
ニ出頭シタル場合ニ於テ相手方カ期日リタル日ヨリ三月内ニ相手方カ期日ニ出頭セサル場合ニ於テハ訴ノ取下アリタル日ヨリ三月内ニ相手方カ異議ヲ述ヘサルトキ亦同シ

ハ訴ノ取下ニ同意シタルモノト看做ス
ニ出頭シタル場合ニ於テハ訴ノ取下アリタル日ヨリ三月内ニ相手方カ期日ニ出頭セサル場合ニ於テハ訴ノ取下アリタル日ヨリ三月内ニ相手方カ異議ヲ述ヘサルトキ亦同シ

民事訴訟法中改正法律案

右 勅旨ヲ奉ジ帝國議會ニ提出ス
昭和十三年一月二十九日

司 法 大 臣 公爵近衛 文麿
内閣總理大臣 公爵近衛 文麿
鹽野 季彥

民事訴訟法中改正法律案

民事訴訟法中左ノ通改正ス

第百六十四條第一項第五号中「其期限

竝ニ借貸」ノ下ニ「及ヒ借貸ノ前拂又ハ敷金ノ差入アルトキハ其額」ヲ加フ

第六百五十八條第三號中「其期限竝ニ借

貸」ノ下ニ「及ヒ借貸ノ前拂又ハ敷金ノ差入アルトキハ其額」ヲ加フ

第六百五十九條第一項中「利害關係人カ

或ル競買人ヨリ保證ヲ立テシメントコトヲ申立ツルトキハ其」及第二項ヲ削ル

第六百六十六條第二項中「預ケタル保證アルトキハ即時ニ其」ヲ「即時ニ保證ノ」ニ改ム

第百六十條第一項第七號中「申立ニ因リ」及「申立アルモノ」ヲ削ル

第六百六十七條第一項第七號中「申立ニ因リ」及「申立アルモノ」ヲ削ル

第七百五條中「第六百六十四條ノ規定ニ從ヒ保證ヲ立ツ可キ求ヲ受クルモノ」ヲ

「第六百六十四條ノ規定ニ依ル保證アルトキハ即時ニ其」ヲ「即時ニ保證ノ」ニ改ム

附 則

○政府委員久山知之君演壇ニ登ル
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第一條ノニニ左ノ一項ヲ加フ
外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中左ノ通改正ス

外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中左ノ通

條約又ハ之ニ準スヘキモノニ前項ノ規定ト異ル規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
（政府委員久山知之君演壇ニ登ル）
○政府委員（久山知之君）只今議題トナリ
マシタ民法中改正法律案外二件ノ法律案ノ提出ノ理由ヲ括シテ御説明申上ゲマス、是等ノ法律案ハ何レモ第七十議會ニ於テ御賛成ヲ得マシタ司法法規整備、即チ現行法規中ノ不備ヲ箇別的ニ補充シ、實際ニ適セガルモノヲ部分的ニ改正スル事業ノ一部ヲ

新ニ設ケタ點、其ノ三ハ所謂短期消滅時效ノ定メアル權利ノ中、判決、裁判上ノ和解

等ニ依テ確定致シマシタモノニ付テ、確定後ノ消滅時效ノ期間ヲ十年ト云フコトニ改メタ點デアリマス、次ニ民事訴訟法中改正法律案デアリマスルガ、改正ノ第一點ハ裁判所ノ職權ヲ以テ公示送達ヲ爲シ得ベキ場合ヲ認メタコトデ、第二點ハ取下ノ手續ヲ簡便ニシタコトデアリマス、改正ノ第三點ト致シマシテハ、第三者ニ賃貸サレテ居ル下動産ノ競賣ニ付賃料ノ前拂、敷金ノ差入ノ有無ヲ取調べ且之ヲ公告スベキ事項ノ中ニ加ヘ、第四點ト致シマシテ下動産競買ノ申出ヲ爲サントスル者ニヘ、必ズ競買代金ノ一部ニ相當スル保證ヲ立テサセルコトニ致シマシタ、改正ノ第五點ヘ不動産假差押ニ付管轄執行裁判所ヲ規定シ、解釋上ノ疑義ヲ一掃致シタノデアリマス、次ニ外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法中改正法律案デアリマスルガ、現行法ニ於キマシテハ外國ノ裁判所ヨリ司法事務ノ共助ヲ求メラレマシタ場合ニ、我ガ國ノ裁判所ガ之ニ應ジマスルニハ、其ノ國ガ囑託シタ事項ノ施行ノ爲ニ要スル費用ノ辨償ヲ保證シタル場合デアルコトヲ條件トスルノデアリマスルガ、其ノ後現行ノ條約中ニハ、囑託ヲ受ケタ國ニ於テ自ラ費用ヲ負擔シテ受託事項ヲ施行スルヤウニ定メタモノガ出來テ參リマシタノデ、此ノ法律ヲ改正スル必要ヲ認メタノデアリマス、以上ノ理由ヲ以チマシテ是等ノ三ツノ法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス十議會ニ提出致シタモノト同一デアリマスデ、前回ハ衆議院ノ解散ノ爲ニ審議未了トナツタモノデゴザイマス、何卒十分御審議ノ上御協贊アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○副議長（侯爵佐佐木行忠君）別ニ御質疑

モナケレバ、三案ヲ日満司法事務共助法案
ノ特別委員ニ併託致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第五、

特許法中改正法律案、日程第六、商標法中

改正法律案、日程第七、不正競争防止法中

改正法律案、日程第八、辨理士法中改正法

律案、政府提出第一讀會ノ續、委員長報告、

是等ノ四案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御

異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト認メマス、委員長西郷侯爵

照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ参

ト〕

特許法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十三年一月三十一日 委員長 侯爵西郷 従徳

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

商標法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十三年一月三十一日 委員長 侯爵西郷 従徳

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

不正競争防止法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十三年一月三十一日 委員長 侯爵西郷 従徳

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

会ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

貴族院議長伯爵松平頼壽殿 従徳

〔侯爵西郷從徳君演壇ニ登ル〕

○侯爵西郷從徳君 特許法中改正法律案、

商標法中改正法律案、不正競争防止法中改

正法律案、辨理士法中改正法律案、右四案

ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シ

マス、特別委員會ハ二十八日迄ニ三十一日

ニ開會ヲ致シマシタ、本法律案ハ既ニ前議

會ニ本院ニ於テソレドヽ可決ト相成リマン

タ案デゴザイマシテ、其ノ中三案ハ「ロンド

ン」條約改正ニ基ク改正案デアリ、辨理士法

中改正案モ亦時勢ニ適セル案デ、委員會デ

ハ全會一致原案通り可決致シマシタ、

而シテ特許ニ關スル限り近年進歩甚ダシキ

モノガアリ、出願ノ件數モ多ク、益々繁多

ヲ加フベキモノデゴザイマスルガ、審査期

日ノ延長ヲ防グコトニ注意セラレタシト云

フ委員側ノ希望ガアリ、當局モ亦此ノ點ニ

ハ十分御注意下サルトノ御意見デアリマシ

タコトヲ特ニ御報告致シマス、終リ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 別ニ御發言

モナケレバ、四案ノ採決ヲ致シマス、四案

ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセ

ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ

ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ

ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ

ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 直チニ各案ノ第二讀

○子爵植村家治君 贊成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵

ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

〔侯爵西郷從徳君演壇ニ登ル〕

○侯爵西郷從徳君 特許法中改正法律案、

商標法中改正法律案、不正競争防止法中改

正法律案、辨理士法中改正法律案、右四案

ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シ

マス、特別委員會ハ二十八日迄ニ三十一日

ニ開會ヲ致シマシタ、本法律案ハ既ニ前議

會ニ本院ニ於テソレドヽ可決ト相成リマン

タ案デゴザイマシテ、其ノ中三案ハ「ロンド

ン」條約改正ニ基ク改正案デアリ、辨理士法

中改正案モ亦時勢ニ適セル案デ、委員會デ

ハ全會一致原案通り可決致シマシタ、

而シテ特許ニ關スル限り近年進歩甚ダシキ

モノガアリ、出願ノ件數モ多ク、益々繁多

ヲ加フベキモノデゴザイマスルガ、審査期

日ノ延長ヲ防グコトニ注意セラレタシト云

フ委員側ノ希望ガアリ、當局モ亦此ノ點ニ

ハ十分御注意下サルトノ御意見デアリマシ

タコトヲ特ニ御報告致シマス、終リ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ

ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵

ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ

ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 直チニ各案ノ第二讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵

ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

〔侯爵西郷從徳君演壇ニ登ル〕

○侯爵西郷從徳君 特許法中改正法律案、

商標法中改正法律案、不正競争防止法中改

正法律案、辨理士法中改正法律案、右四案

ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シ

マス、特別委員會ハ二十八日迄ニ三十一日

ニ開會ヲ致シマシタ、本法律案ハ既ニ前議

會ニ本院ニ於テソレドヽ可決ト相成リマン

タ案デゴザイマシテ、其ノ中三案ハ「ロンド

ン」條約改正ニ基ク改正案デアリ、辨理士法

中改正案モ亦時勢ニ適セル案デ、委員會デ

ハ全會一致原案通り可決致シマシタ、

而シテ特許ニ關スル限り近年進歩甚ダシキ

モノガアリ、出願ノ件數モ多ク、益々繁多

ヲ加フベキモノデゴザイマスルガ、審査期

日ノ延長ヲ防グコトニ注意セラレタシト云

フ委員側ノ希望ガアリ、當局モ亦此ノ點ニ

ハ十分御注意下サルトノ御意見デアリマシ

タコトヲ特ニ御報告致シマス、終リ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ

ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵

ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

ト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 直チニ各案ノ第二讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

改メル譯ニ行カヌ、併シ是カラ新シク検定ヲ受ケルモノハ新式ニ依ツテノミ検定ヲスル、新式ニ反対シタモノハ検定ヲ興ヘナイト云フコトデアリマスガ、是ハ其ノ通りダラウト思ヒマスガ、念ノ爲メ尙伺ツテ置キタウ存ジマス、第三ノ度量衡ノ原理或ハ歴史等ヲ一般國民ニ知ラシムルコトガ必要デナイカト云フコトニ對シマシテハ、之ヲ小學校ニ於テ教ヘルコトハ學科ノ關係上困難ガアル、能ク考ヘテ見ル……ト云フ御答ヲ拜聽シマシタ、私ノ伺ッタノヘ、總テ小學教育ト云フ譯デハナカツタノデアリマシテ、小學教員、詰リ師範教育、或ハ中學程度ノ者、之ニ只今ノ此ノ工業教育ニ意ヲ用ヒルト云フ際ニ於テハ、工業ノ基礎トナル所ノ學術研究等、之ヲ實際ノ工業ニ應用致シマスル爲ニヘ、度量衡ヘ其ノ基礎トナルモノデアリマスルカラ、其ノ原理ノ概要ヲ教ヘルヤウニ教科書ニ織込ンデ戴キタイ、斯ウ云フ伺ヒデアリマシタ、唯度量衡ヘ大切ダト云フノミナラズ、舊來ノ大體ノ來歴、舊來ノ度量衡デハ間ニ合ハヌ、現代ノ學術研究ニハ其ノ系統ノアルモノノ必要ヲ感ジテ今日ノ度量衡ガ出來テ居ルト云フコトヲ極ク簡單ニ示スコトガ必要デアラウト思ヒマシテ、サウ云フコトヲ小學ヨリ少シク進ンダ所ニデモ織込ンデ戴クコトヲ希望致シマス、文部大臣ハ是ダケデ御忙シイ所ヲ再ビ伺ヒマシテ相濟ミマセヌ、ソレカラ外務關係ニ於キマシテ、外務省ノ海外ノ大使館、領事館等ニ御達シニナツカコトヲ伺ヒマシテ、併誠ニサウア・ルベキコトト感ジマシタ、併シ外國ニ日本語ノ弘マルコトハ日々々ニ進ミ

マス、殊ニ文化事業ニ於キマシテ、文化振興會ナルモノハ外務省ノ御指圖ヲ受ケルコトト思ヒマシテ、謂ハバ外務省ノ延長シタ一部分トモ見ルコトガ出來ルノデアリマス、而シテ外國ニ於テ日本使臣・公使、是等ニ總テ新式ガ使ハレテアルニモ拘ラズ、新ラシク文化振興會ヨリ出版致シマスモノニ舊式ニ從テ出版致シマシテハ、政府ガ統一ヲ期スル、實行ヲ期スルト云フ訓令ニ依ッテ出来タ所ノ書方ニ、反對シタ書方ヲ用ヒルコ致シマス、是ハ然ルベク其ノ邊ノ所ヲ御示トハ、外國人ニ迷ヒ乍來シハセヌカ、延イテハ政府ノ威信ニ障ハル所ハナイカト心配シニナリマシテ、此ノ統一シタル所ノ綴方ヲ用ヒルコトヲ希望致シマス、是ハ外務當局ニ伺ヒマス

次第デアリマス、ソレカラ第一ノ點ハ教科書ノ検定ハ新式ニ依ルコト思フガドウデアルカト云フゴトニ伺ヒマシタガ、ソレヘ其ノ通リニ取運ブコトニ致シテ居リマス、ソレカラ第三ノ點ハ度量衡ノ重要性ニ鑑ミマシテ、「メートル」法ノ度量衡ノ所謂原理ヲ學校ニ於テ教ヘテハドウカト云フコトデゴザイマスガ、此ノ點ハ小學校ノ意味ニ於キマシテ昨日へ御答辯申上ゲマシタガ、更ニ上級ノ教科書ニ於テ或程度ノコトヲ教授致シマスコトハ、御趣旨ハ誠ニ結構ト存シテ居リマス、十分考慮致シタイト存ジテ居リマス

〔政府委員松本忠雄君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松本忠雄君) 文化事業振興會ナドノ外務省トノ關係ノアリマスル團體ガ、同ジャウナ行方ヲスル方ガ望マシイコトデアリマスルコトハ申ス迄モナイコトデゴザイマシテ、外務省トシテハ、サウ行クコトノ出來マスルヤウニ努力致ス積リデゴザイマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 田中館君ニ伺ヒマスガ、總理大臣ニ對スル御質疑ハ未ダ御残リデゴザイマセウカ

○田中館愛橘君 是ハオ出デノ節ニ伺ヒタウゴザイマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) ソレデハ次ノ機會ニ御願ヒ致シマス

○田中館愛橘君 結構デゴザイマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 平沼亮三君
〔平沼亮三君演壇ニ登ル〕

○平沼亮三君 近來國民ノ體位ノ問題ニ付キマシテ、漸ク世間ノ注意ラ惹クヤウニナリマシテ、政府ニ於カレマシテモ、此ノ點ニ重キラ置カレテ、今度新シク一省ヲ設ケテ

戴キマシタコトハ、非常ニ御同慶ニ堪ヘナ
大臣ノ御演説中ニモ、一言モ此ノ新シク出
來マシタ厚生省ノコトニ付キマシテノ御話
ガゴザイマセヌ、又其ノ後議員各位カラノ
御質問ニ依リマシテ、厚生大臣ノ御答辯ハ
ゴザイマシタケレドモ、其ノ多クハ虛弱者
トカ、或ハ病人ナドノ療養トカ、或ハ研究
ニ對シマスル、詰リ消極的ノ問題ガ多ウ。ゴ
ザイマシテ、積極的ニ其ノ病人ヲ作ラナイ、
虛弱者ヲ起サナイト云フヤウナ、所謂體育
ノ方面ニ付キマシテ何等御抱負ガゴザイ
マセヌノデ、少クモサウシタ方面ニ對シマ
スル厚生大臣ノ御抱負ノ一端ヲ御伺ヒ致シ
タイト思ヒマスルノハ、是ハ私バカリデハゴ
ザイマセヌデ、多クノ國民、殊ニ青年層ノ者
共ノ非常ニ期待シテ居ル所ト存ズルノデア
リマス、自下支那膺懲ノ皇軍ハ、忠勇義烈ナ
ル將兵ノ奮闘ニ依リマシテ、到ル處連戦連
捷ハ致シテ居リマスガ、其ノ兵力ニ於キマ
シテモ、常ニ我々ノ數倍、又ハ數十倍ヲ超
モ、或ハ彼等ノ方ガ優ツテ居ルノハナイカ
ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマス、ソレ
ニモ拘ラズ常ニ彼等ヲ擊滅シテ居リマスト
申シマスルノハ、上陛下ノ御稟威ノ然ラシ
ムルコトハ勿論デゴザイマスルケレドモ、
全ク我が將兵ノ陛下ノ御爲ニ戰フ、又皇國
ノ爲ニ鬪フト云フ非常ニ尊イ精神、ソレニ
反シマシテ、全ク備ハレテ戰フト云フヤウ
ナ、支那ノ兵隊ト非常ニ其處ニ精神上ノ相
違ガ、此ノ大捷ヲ見テ居ルノダト思フノデ
アリマス、兵隊ノ個々ノ體格ヲ或ハ比較シ
マシタナラバ、殘念ナガラ彼ニ一日ノ長ガ
アルノデハナイカトサヘ我々ハ悲觀シテ居

ハ青年體位ノ向上ヲ圖ルトカ云フヤウナコトニ盡シテ居ルノデアリマスルガ、是トテモ單ニ國際ノ競技デモアリマスル場合ノミニソレヽ御補助ヲ願ヒ、或ハ一般カラノ御寄附ヲ願シテ、サウシテ仕事ヲヤッテ居リマスルダケデ、平生ハ何等ノ御補助モ戴ケマセヌデ、幸クモ加朗團體ノ加盟金ニ依シテヤツテ居ルノデアリマス、將來ハ勿論斯ウシタヤウナ仕事ヲ厚生省ニ於テ爲サツテ下ナルコトトハ有ジマスルケレドモ、私ハ却テ今迄出來テ居リマスル團體ヲ御利用下サイマシテ、物質上ノ援助ヲ與ヘ、精神上ノ鞭撻ヲ與ヘマシテ、サウシテサウ云フ團體ト御提携下サイマシテ、サウシテ益此ノ方面ニ御努力下サルヤウナ御心持ガオアリデアリマスルカ、是モ御伺ヒ致シタイト思フツデアリマス、又只今申上ガマシタノハ國際的ノ例デゴザイマスガ、國內的ノサウシタ團體ノ例ト致シマシテ、是ハ私ハ前議會ニ於テモ御尋ね致シマシタノデゴザイマスガ、大臣モ御迭リニナリマシタシ、所管モ今度變リマシタノデ、稍重複ノ嫌ガアルカモ知レマセヌガ御伺ヒ致シタイノハ、明治神宮ノ體育大會ノコトデゴザイマスガ、是ハ隔年毎ニ明治神宮ノアノ外苑ヲ中心ト致シマシテ、明治大帝ノ御聖德ヲ景仰シ奉ルノガ此ノ會ノ趣意デゴザイマシテ、其ノ御神前ニ於テ、各種ノ競技ヲ鬪ハスノデアリマシテ、是ハ單ニ體育バカリデハゴザイマセヌデ、精神的ニモ非常ナ效果ガアルト信ジテ居ルノデアリマス、殊ニ昨年ハ丁度此ノ大會ノ開催ノ年ニ當ツテ居リマシタノデ、昨年ノ十一月ノ明治節ヲシマシテ此ノ大會ヲ開催致シタノデアリマス、昨

浦カラ集リマシテ其ノ大會ヲ舉行シタノデ
年ハ丁度約萬人程ノ選手が日本ノ津々浦
アリマスガ、入場式ニ當リマシテ其ノ集合
士ノ武運長久ノ御祈願ヲ致シタノデアリマ
ス、其ノ際ニ五千五百人ノ各選手ガアノ廣
廣ト致シマシタ御神前ニ額キマシタ時ニ、
又代表者ガ祈願文ヲ朗讀致シマシタ時ニ
ハ、殆ド莊嚴其ノモノデゴザイマンテ、一
人ノ咳スル者サヘナカツタノデアリマシテ、
近來國民精神總動員トカ、或ハ精神作興ト
云フヤウナコトガ非常ニ叫バレテ居リマス
ル際ニ、コンナ良國民精神總動員ノ運動
方法トシテハナイト云フコトヲ、私共ハ痛ム
感致シタノデゴザイマス、ソレカラ引續キ
マジテ明治神宮ノ外苑ニ一同ハ入場式ヲ舉
行政シマシテ、文部大臣竝内務大臣ノ御臨
場ヲ願ヒマシテ、兩大臣ヨリ御訓示ヲ頂戴
致シタノデアリマス、之ニ參加致シマスル
此ノ津々浦々カラ參リマス者ハ、アノ明治
神宮ノ大會ニ出マスコトダケヲモウ非常ナ
憧憬レトシテ居ルノデアリマス、是ハチヨット
餘事ニナルノデアリマスルガ、其ノ際ニ文
部大臣カラ、アトデ私ハ御伺ヒ致シタノデ
アリマスガ、御注意ガアリマシテ、大變ニ立
派ナ會デアルガ、アノ行進ガモウ少シ揃
トヲ聞キマシテ、非常ニ心嬉シク存ジマシ
タ、ト申シマスルノハ從來ナカヽヽオ出デ
サウ云フ風ナ御注意ガアリマシタ云フコ
ハヌカト云フ御尋ガ文部省ノ方ニアツカサ
行列ニ、行進ニ御注意下サルヤウナコトハ
全然ナカツタノデゴザイマス、是ハモット行

カラ又御尋デアリマスガ、實ハ此ノ五千五百人ノ選手ハ、有ラユル日本ノ臣民ナラバシ、武道ノ人ヘ羽織、榜デ參列致シマス、誰デモ參加出來マスル規定上、中ニハ十五歳位ノ水泳ノ選手モ居リマスシ、中ニハ又六十歳位ノ剣道ノ範士モ入ヅテ居リマスルシ、又馬術ノ人ハ軍服ヲ參列致シマスルシ、或ハ「エニホーム」デ參列致シマスルシ、又女子モ居ルト云フヤウナ譯デ、所謂老若男女ガ參加シテ居ルノデアリマスルカラ、軍隊デアルトカ學生ノ行進ヲ御覽ニナック眼力ヲ見マスルト、如何ニモ亂雜カモ知レマセヌガ、併シナガラ兎ニ角サウシタ者ガ五千ト云フコトハ非常ニ私ハ意義ガアリマスルコトデ、今後トモ大ニ是ハ獎勵シテ行カナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、唯ト云フコトハ非常ニ私ハ意義ガアリマスル府カラ一萬圓ノ御補助ヲ願ヒマシテ、アトハ全部入場料ヲ以テ支辨シテ居ツクノデアリマス、其ノ入場料ガ約五萬圓位ゴザイマシタ、處ガ宮殿下ヲ總裁ニ仰ギ奉ッテ居リマシテ、萬一入場料ナドノ不足デ此ノ經費ニ何カ不足ヲ起シマシタ時ニハ相濟マヌ、モウツニハ斯ウシタ會ハ入場料ヲ取ラヌデヤルコトノ方ガ宜イノデハナイカト云フヤウナ考カラ、政府ニ御補助ヲ増額シテ戴キマシテ、サウシテ本年カラ、所謂昨年度カラヘ入場料ヲ全廢シタノデアリマス、處ガ時局柄我々ノ御願ヒ致シマスダケノモノが出来マセヌデ、二萬圓程ノ補助ヲ今日ハ戴キマシテ入場料ナシデヤッタノデアリマスルケレドモ、從來七萬圓程掛ッテ居ツクノデアリマスカラ、非常ニ節約致

シマシタガ、尙且相當ノ不足ヲ生ジタノデアリマス、是ハ私ノ政府ニ於カレマシテモット斯ウシタ方面ニ御力ヲ御入レサルヤウナ御考ガナイカ、又此ノ大會ナンカヘ、是モ前ニ申上ゲマシタ筈ニアリマスルガ、昔ハ内務省ガ御主催ニナッテ、此ノ大會ヲ舉行サレテ居ツタノデアリマス、處ガ文部省ト所管ノ争カラ問題ガ起リマシテ、遂ニ僅カニ二回ニ致シマシテ之ヲ民間ニ譲リマシテ、サウシテ之ヲ所管スルノハ文部省ト云フコトニナツタノデアリマス、爾來ズツト民間ニヤッテ來タノデアリマスケレドモ、今度ノヤウナ劃然タル所管省ノ厚生省ガ出來マシタ以上ハ、或ハ本ニ戻リマシテ、斯ウシタ結構ナ會ハ政府直營ニ以テ、厚生省テオヤリニナルコトモ一ツノ御考デナイカ、サウシタ御考ガゴザイマスヤラ、是モ御尋シタイ一ツデアリマス、ソレカラ又モウ一ツ御尋シタイト思ヒマスルコトハ、先達ニ私共「ドイツ」ニ参リマシテ向フノ現状ヲ見マスルト云フト、日本ト非常ニ此ノ運動ノ指導方法ガ達ヒマスルコトハ、日本デハ全ク運動ナド致シマスル者ハ學生ニ限ラレシマスルノハ、全ク「ヒットラー」氏ガ全力ヲ國民體位ノ向上ニ努メマシタ結果デゴザイマシテ、今ハ非常ナ立派ナ體軀ヲ現シ、又立派ナ元氣ヲ見セテ居リマスルガ、是ハ全ク非常ナル力ヲサウシタ方面ニ注イデ居リマスル、其ノ一例ヲ申シマスルト云フト、「ベルリン」ノ町ニ學生以外ノ所謂社會人ノ爲ノ運動場ガ四百何十箇所モアリマシテ、又政府デ以テ抱ヘテ居リマスル指導員ガ七

千名モアルサウデゴザイマス、是ハ日本デハ全然サウシタ學生以外ニ對シマスル指導方法ナドハナイノデアリマス、今度此ノ厚生省ガ出來マシテ、サウシタ指導者ナドノ所管ノ争カラ問題ガ起リマシテ、遂ニ僅カニ二回ニ致シマシテ之ヲ民間ニ譲リマシテ、サウシテ之ヲ所管スルノハ文部省ト云フコトニナツタノデアリマス、又一昨年ノ此ノ大會ノ時ニ、「ドイツ」ガ「ベルリン」ニ於キマシテ數千萬圓ヲ掛けマシテ、僅カニ一ツノ競技場ヲ造ツテ居ルノデアリマス、私共ハ參ッテ見マシテ餘リノ雄大、餘リノ壯麗ニ「オリエンピック」ト致シマシテは少シク贅澤過ギルモノハナイカト云フヤウナ感ジト、モウ一ツハ殊ニ戰敗國ニアルニモ拘ラズ、斯ウシタ立派ナモノヲ能クモ建テタモノダト云フヤウナ感ジガシタノデアリマス、處ガ「ヒットラー」ハ是ハ決シテ「オリエンピック」ノ爲ニ建ツタモノデハナイ、「オリエンピック」ハポンノ一時のノモノデアルケレドモ、此ノ殿堂ハ將來之ニ依ツテ「ドイツ」國民ノ體位ノ向上ガ出來ルナラバ、「ドイツ」國民ノ保健ノ上ニ利益ガアルナラバ、決シテ高イモノデハナイト云フヤウナコトヲ豪語シテ居リマスケレドモ、「ドイツ」ガ非常ナ勢ヲ以テ復興シ、非常ナ勢ヲ以テ體位ノ更生ヲ圖ッテ居ルト云フコトモ言ヘナイデハナイカト思ツタノデ、成程「ドイツ」ガ非常ナ勢ヲ以テ居ツタノデ、僅カニ「ドイツ」ノデアリマス、サウシテ今日本デハ私先程申上げシテ御尋シタイト思ヒマスルコトハ、今度此ノ一省ガ新シク出來マシテ、文部省ノ今迄ヤツテ居リマシタ體育ノ方ノ仕事が非常ニ閑散ニシテ御尋シタイト思ヒマスルコトハ、今度此ノ居リマシタ體育ノ方ノ仕事が非常ニ閑散ニナツタヤウニハ思ハレマスルケレドモ、學校體育ナルモノハ全然文部省ニ殘ツタノデアリマス、サウシテ今日本デハ私先程申上げマスル通り、殆ド此ノ體育運動ハ學生ニ限ラレテ居リマスル上ニ、僅カニ中小或ハ専門學校位ガ體操ナドガ正科ニ掲グラレテ居リマスルケデ、大學ニ参リマスルト云フト、全ク自由ニナツテ居ルノデアリマシテ、始終私共オ小言ヲ承ツテ居リマスノデアリマスルガ、サウシタ意味カラ參リマシテモ、文部省ノアノ體育課ナルモノガ、新シク一省サ

シテ國民ノ保健ノ上ニ、精神上ニ裨益スル所ガアルカラト云フヤウナ建議ガアツタノデアリマスガ、是ガ滿場一致ニ通過致シタ居リマスル今日、最モ相應シイコトダト思得ナケレバ、内務省ト相俟ッテ其ノ事ノ實行ハムヅカシイノデハナイカト思ヒマスルノル關係ガアリマスルノデ、多分ノ御助力ヲ得ナケレバ、内務省ト相俟ッテ其ノ事ノ實行は此ノ非常時デゴザセヌガ、入場稅トカ申シマシテ、一般ノ觀覽者カラ取リマス入場料ト申シマスカ、ソニナリマシタ、所謂マダ詳シイ名前モ存ジマシテ、サウシテモット國民體育ト全ク離レルコトノ出來ナイ、アノ學生ノ體育方面ニ御盡シ下サルヤウナ御考ガ文部大臣ニアラッシテ、サウシテモット國民體育ト全ク離レルシテ、ソレカラ最後ニ、是ハ只今問題ヒマスルノデ、是ハ所管ハ内務省デゴザイマスカラ、造ル造ラナイハ内務省ノ御意向ダト存ズルノデアリマスケレドモ、矢張リツノ競技場ヲ造ツテ居ルノデアリマス、私共ハ參ッテ見マシテ餘リノ雄大、餘リノ壯麗ニ「オリエンピック」ト致シマシテは少シク贅澤過ギルモノハナイカト云フヤウナ感ジト、モウ一ツハ殊ニ戰敗國ニアルニモ拘ラズ、斯ウシタ立派ナモノヲ能クモ建テタモノダト云フヤウナ感ジガシタノデアリマス、處ガ「ヒットラー」ハ是ハ決シテ「オリエンピック」ノ爲ニ建ツタモノデハナイ、「オリエンピック」ハポンノ一時のノモノデアルケレドモ、此ノ殿堂ハ將來之ニ依ツテ「ドイツ」國民ノ體位ノ向上ガ出來ルナラバ、「ドイツ」國民ノ保健ノ上ニ利益ガアルナラバ、決シテ高イモノデハナイト云フヤウナコトヲ豪語シテ居リマシタノデ、成程「ドイツ」ガ非常ナ勢ヲ以テ復興シ、非常ナ勢ヲ以テ體位ノ更生ヲ圖ッテ居ルト云フコトモ言ヘナイデハナイカト思ツタノデアリマス、ソレニ付キマシテ私ガ尋シタイト思ヒマスノハ、前議會ニ於キシテ二荒伯爵其ノ他ノ方ニ依リマシテ御提唱ニナリマシテ、當議會ニ於キマシテ満場一致可決サレマシタ外苑ノ擴張工事デアリマス、丁度皇紀二千六百年ノ記念事業トシテ是非アレヲ擴張シ、中ニ立派ナ完全ナル競技場ヲ造リ、又立派ナ庭園モ造ツテ、サウ

シテ國民ノ保健ノ上ニ、精神上ニ裨益スル所ガアルカラト云フヤウナ建議ガアツタノデアリマスガ、是ガ滿場一致ニ通過致シタ居リマスル今日、最モ相應シイコトダト思得ナケレバ、内務省ト相俟ッテ其ノ事ノ實行は此ノ非常時デゴザセヌガ、入場稅トカ申シマシテ、一般ノ觀覽者カラ取リマス入場料ト申シマスカ、ソニナリマシタ、所謂マダ詳シイ名前モ存ジマシテ、サウシテモット國民體育ト全ク離レルシテ、ソレカラ最後ニ、是ハ只今問題ヒマスルノデ、是ハ所管ハ内務省デゴザイマスカラ、造ル造ラナイハ内務省ノ御意向ダト存ズルノデアリマスケレドモ、矢張リツノ競技場ヲ造ツテ居ルノデアリマス、私共ハ參ッテ見マシテ餘リノ雄大、餘リノ壯麗ニ「オリエンピック」ト致シマシテは少シク贅澤過ギルモノハナイカト云フヤウナ感ジト、モウ一ツハ殊ニ戰敗國ニアルニモ拘ラズ、斯ウシタ立派ナモノヲ能クモ建テタモノダト云フヤウナ感ジガシタノデアリマス、處ガ「ヒットラー」ハ是ハ決シテ「オリエンピック」ノ爲ニ建ツタモノデハナイ、「オリエンピック」ハポンノ一時のノモノデアルケレドモ、此ノ殿堂ハ將來之ニ依ツテ「ドイツ」國民ノ體位ノ向上ガ出來ルナラバ、「ドイツ」國民ノ保健ノ上ニ利益ガアルナラバ、決シテ高イモノデハナイト云フヤウナコトヲ豪語シテ居リマシタノデ、成程「ドイツ」ガ非常ナ勢ヲ以テ復興シ、非常ナ勢ヲ以テ體位ノ更生ヲ圖ッテ居ルト云フコトモ言ヘナイデハナイカト思ツタノデアリマス、ソレニ付キマシテ私ガ尋シタイト思ヒマスノハ、前議會ニ於キシテ二荒伯爵其ノ他ノ方ニ依リマシテ御提唱ニナリマシテ、當議會ニ於キマシテ満場一致可決サレマシタ外苑ノ擴張工事デアリマス、丁度皇紀二千六百年ノ記念事業トシテ是非アレヲ擴張シ、中ニ立派ナ完全ナル競技場ヲ造リ、又立派ナ庭園モ造ツテ、サウ

ボーッ」ニ税金ヲカケルト申シマシテモ殆ド野球位ノモノデ、其ノ他ノモノハサウ大シタモノモアリマセヌガ、野球ノ如キハ相當ノ收入ガアリマスノデ、是ハ税金ガカケラレマスル迄モナク、現ニ昨年ノ如キ二萬八千八百八十七圓ヲ陸海軍ノ兩省ニ獻金ヲ致シマシテ、入場料ノ内ヲ獻金致シテ居ルノデアリマスカラ、今度ト雖モ若シモ名目サヘ立チマスナラバ、サウシタ御奉公ヲ致シマスコトハ決シテ資デハアリマセヌ、唯同ジヤウニ「ダンサー」モ學生モ同シ税金ヲ拂ツテ興行化サセルト云フコトガ、非常ニ私ハ危險デハナイカト思フノデアリマシテ、此ノ點ハ寧ロ大藏大臣ニ御願スルヨリモ、厚生省ト致シマシテ、或ハ文部省ト致シマシテ、敢然ト別ノ方法ニ依ツテヤッテ戴キタイト思フノデアリマス、以上厚生大臣ノ御抱負ノ一端ヲ御伺ヒ致シマスニ付キマシテ、二三御参考ニ御伺ヒ致シマシタ次第デアリマス

マス、從ツテ厚生省ニ於キマシテハ從來ノ如ク、單ニ消極的ナ衛生ト云フヤウナ方面ノコトニノミ考ヘマセヌデ、積極的ニ國民ノ體力ヲ鍛ヘ體位ヲ向上サセルト云フコトニ付キマシテハ、特ニ力ヲ入レル考デアリマシテ、體力ニ於テ國民體力ノ向上ニ關スル諸般ノ事務ヲ統合致シマシタノモ、此ノ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、從ヒマシテ政府ハ國民體力ノ向上ヲ圖リマス方策トシマシテハ、一面ニ於テハ衛生行政ノ徹底ヲ圖リ、且衛生ニ關スル國民ノ自覺ヲ促シテ、體力ノ向上ヲ實行セシメルト共ニ、體力向上ノ施設ノ擴充、體育指導機關ノ充實、體育運動ノ獎勵等ヲ行ヒマシテ、健康ノ保持増進ヲ圖リタイト存ジテ居ル次第デゴザイマス、而シテ是等ヲ實施致シマスルト呼應致シマシテ、國民體力ヲ適正ナル方法ニ依ツテ調べマシテ、之ニ立脚シテ、更ニ體力向上ノ根本的ノ方策ヲ立テルト云フコトガ又必要ニナルノデアリマシテ、國民個々ニ對シテ適切ナル指導監督ヲ致シマスルコトガ緊要デアリマスガ故ニ、此ノ度國民體力ノ管理制度ノ準備調査ヲ行ハムトシテ居ル次第ニアリマス、是等ノ方策ヲ實施シマスルコトニ依リマシテ、今後國民ノ體力ノ向上ヲ圖リ得ルモノト存ジテ居ル次第アリマス、ソレカラ第二ノ點ハ明治神宮體育大會ヲ國デ主催スル意思ハアルカドウカ、若シ國デ主催シナイナラバ、或ハ補助金ノ増額等ニ依リマシテ、更ニ之ヲ充實シテ行フ考ヘナイカト云フ御尋デアリマス、明治神宮體育大會ガ我國ノ體育ノ向上ニ付テ非常ナ貢獻テ、政府ニ於キマシテモ此ノ體育大會ガ益、發展スルコトニ付テハ、非常ナ期待ヲ持ッテ居

ル譯デゴザイマス、唯之ヲ國デ主催スルヤ
否ヤニ付キマシテハ、マダ種々研究ヲ要スル
點モゴザイマス、篤ト調査ノ上デ決定シ
タイト思フノデゴザイマス、次ニ補助金ニ
付キマシテハ主催ノ問題等モ關聯致シマス
ノデ、是モ併セテ十分考究致シタイト思ツテ
居リマス、ソレカラ次ニ「ドイツ」ニ於テハ社
會人ノ爲ノ所謂運動場ノ設置トカ、指導者
ノ養成等ニ付テ非常ナ力ヲ入レテ居ルガ、
我ガ國ニ於テハサウ云フ施設ガ殆ドナイ、
將來ハ是等ニ付テ如何ナル考ヲ持テ居
カト云フ御尋デゴザイマシタガ、厚生省ガ
出來マンテ、學校體育以外ノ體育ヲ直接管
掌致シマシテ指導致シマス上カラ言ヒマス
ト、將來ハ是等ノ點ニ付テハ最モ力ヲ入レ
ナケレバナラヌト考ヘテ居リマスノデ、只
今ハマダ厚生省設立直後デアリマシテ、十
分ノ案モゴザイマセヌガ、漸ヲ加フテ是等
ハ充實シテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソ
レカラ明治神宮外苑ノ擴張ニ關シマスル點
ニ付キマシテハ、是ハ御趣旨ハ誠ニ私モ御
同感デゴザイマスガ、神苑ニ屬スルコトデ
モゴザイマスシ、所管大臣ト十分協議致シ
テ善處シタイト考ヘテ居リマス、其ノ次ハ
文部省ノ所管ト致シマシテ、體育行政ガ厚
生省ニ移リマスニ付キマシテ、文部省ニ於
ケル體育ガ如何ニモ貧弱ニナル、モウ少シ
之ヲ擴大強化スル意思ハナイカト云フ御尋
デゴザイマスガ、勿論はハ常ニ考ヘテ居ル
所デゴザイマシテ、現在ノ體育ハ教育ノ上
カラ申シマスト甚ダ位置ガ低イノデアリマ
シテ、德育智育ニ比ベマシテ體育ガ甚ダ閑
却サレテ居ルト云フ實情ハ、私等モ認メテ
居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ學校體育
ト云フコトニ付キマシテ、文部省ガ今後ハ

専念致シマス次第デアリマスカラ、是等ニ付テハ十分研究ヲ致シマシテ、智育德力體力、三ツガ歩調ヲ合セテ進メ得ルヤウニ努力シタイト思ツテ居リマス、ソレカラ最後ニ、今回政府ガ提出スルヤウニ出テ居リマス所ノ臨時増稅法案ノ中ニ、入場稅新設ニ關シマシテ御尋デゴザイマシタガ、是ハ平沼サンガ仰せノ通り、今日非常ノ際ノ立法デアリマシテ、運動競技ノ觀覽者等モ亦此ノ負擔ヲ致シマスコトヘ、是ハ協力御奉公スペキ一ツノ手段デアッテ、差支ナイト存ジテ居リマス、唯問題ハ御說ノ通り是ガ演劇デアルトカ、興行物ト一緒ニ致シマスコトスルハ、運動競技ノ觀念カラ見マシテ、其ノ神聖ト權威ヲ傷ツケル虞ハ十分アルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ關係當局トモ話合ヒマシテ、其ノ神聖ト權威ヲ傷ツケナイヤウニ、適當ノ手段ヲ講ジマシテ、取計ラウコトニ略々話ヲ付ケテ居ル次第デゴザイマス

一
一
六

臣ノ演說ニ關スル件

司法大臣、陸軍大臣、内務大臣、文部大臣、更ニ場合ニ依リマシテハ總理ニモ申上ゲタシテ私ガ今申上ゲマシタ各大臣ノ御答辯ヘ、再ビ總理ノ御説明ヲ煩スヤウナコトニ立至ラザルヤウ御願ヲ豫メ申上ゲマス、今日ハ陸軍大臣ハ御出席ニナリマセヌカラ先づ司法大臣ニ御伺ヲ申上ゲルノデアリマス、現内閣ノ其ノ以前ノ内閣ハ、申上ゲル迄モナク皆様御承知ノ通リ林内閣、林内閣ハ祭政一致ヲ標榜サレマシテ、私共へ其ノ主義ニ大共鳴ヲ持ツテ居ツタノデゴザイマス、然ルニ其ノ内閣ハ案外ニモ短命デゴザイマシタ、殘念至極ニ思ツテ居リマス、其ノ内閣ニ現法相ハ矢張リ司法大臣トシテ閣僚ノ一員デオアリニナッタノデアリマス、即チ司法大臣トシテノ御職責ヲ御盡シナサル上ニ於テハ、必ズ祭政一致ノ本義ヲ主體トシテ御臨ミニナツテ居ルコトト私ハ信ジテ居ツタノデアリマス、而シテ林内閣ガ今申上ゲタヤウナ結果ニ相成リマシテ、近衛内閣ガ成立致シマシテ、或ハ以前ニモ増シク結構ナ内閣デアリラウト云フヤウナ聲モ承ツテ居ルノデアリテオイデニナルノデアリマス、申サバ精神内閣、林内閣ニ付キマシテ私ハ祭政一致ヲ持ツ以チマシテ、此ノ内閣ガ正義ヲ本義トシテ立タレクト云フコトヲ、非常ニ結構ナコトデアル、而モ現法相ハ先キノ祭政一致ノコトデアルト云フコトヲ申上ゲタト同ジ心内閣ニ法相デアリ、又正義ヲ主臺トスル所

ノ内閣ニ司法大臣トシテオイデニナルノデ
アリマスカラ、誠ニ御質問ヲ申上ゲル上ニ
於テモ、私ハ賴リ多イ司法大臣デオアリニ
ナルトス様ニ考へテ居ルノデゴザイマス、
然ル所、先般來衆議院ニ於キマシテ彼ノヤ
カマシイ帝人事件ニ對スル質問ガゴザイマ
シテ、其ノ御答辯ノ要旨ヲ或ヘ「ラヂオ」、或
ハ新聞等ニ依テ大體承知ヲ致シタノデア
リマスガ、其ノ報道ガ全然正確デアルトハ
申スコトガ出來マスマイガ、大體ニ於テ私
ハ間違ヒナイモノト考へテ居ルノデゴザイ
マス、昨日ノ豫算總會ニ於キマシテ、所謂
一問一答ト云フヤウナ形式デ、議員ト法相
トノ間ニ問答ガゴザイマシタ、拜見ヲ致シ
マシタ、處ガ質問ヲスル人ガ法律家デアル
爲デアルカ何カハ存ジマセヌガ、是ハ法廷
ニ於テ辯護士同士ガ互ニ争ッテ居ルヤウナ
論調デアル、決シテ正義ヲ本義トシテ居ル
所ノ方ノ御答ト、私ハ承ルコトガ出來ナイン
アリマス、是ハ非常ニ私ハ意外ニ感ジテ居
ル、時間ガ少イノデアリマスカラ、其ノ當
時ノ問答ヲ一々申上ゲルコトハ、此ノ場合
避ケマスガ、ドウモ御答辯ノ御様子ハ私ハ
度々繰返シマス所ノ正義ヲ土臺トシテノ御
答辯デナカツタコトヲ甚ダ遺憾トスル所デ
アリマス、先づ一例ヲ申上ゲマスト、新聞
ニ傳ヘラレル所ノモノハ自分ノ聲明デヘナ
イノデアル、アレハ談話デアツクノデアル、
聲明ト談話ハ成程法律的ニ解釋スレバ、其
處ニ幾多ノ相違モゴザイマセウガ、聲明ト
談話ト違フノデアル、アレハ談話デアツクノ
デアル、是ハ責任回避モ甚ダシ御言葉ダ
ト思フ、正義ヲ土臺トシテ斯様ナ御言葉ガ
アツクコトハ、私ハ司法大臣トシテ誠ニ惜シ
イコトデアルト思フ、併シ人ニハ過チモア

ニ御説明ヲ下サレバ私ハ満足スルノヨリ明瞭
マヌ、是ハ一ツノ例ニアリマス、澤山例ヲ
舉ゲレバ限りハナイノデアリマスカラ、私
ハ稍、横ニ走ッテ申譯アリマセヌガ、林内閣ノ
當時祭政一致ヲ極力主張ヲ爲サッタ、我々モ
非常ニ御贊成ヲ申上ゲタ、其ノ林内閣ハ突
如トシテ議會ノ最終日ニ解散ヲサレマシ
タ、其ノ解散ノ當否ハ私共ハ問題ニ致シテ
居リマセヌ、其ノ解散ノ結果來タモノハ總
選舉デアル、總選舉ハ四月ノ三十日、其ノ前
日迄ハ何百ト云フ候補者ハ自分ノ當選ヲ期
サムガ爲ニ大イニ争ッタノデアリマス、二
十九日、其ノ前日デアル二十九日ハ所謂最
後ノ五分間デアリマスガ爲ニ、選舉違反モ
此ノ日ニ多ク起ルデアリマセウシ、又互ニ
反對黨、或ハ反対ノ候補者ニ對シテ色々非
難攻撃ヲ試ミルト云フコトモ人情トシテ此
ノ點ハ有リ得ルコトト思フ、併シ祭政一致
ヲ標榜シテ居ル林内閣ハ、四月二十九日ト
申セバ、畏レナガラ 天皇陛下ノ御誕辰日デ
アル、國ヲ舉ゲテ皆 陛下ノ萬歳ヲ祝シ申上
ゲ、我々ハ其ノ下ニ國民トシテノ榮譽ニ付
テ感謝ヲ申上ゲナケレバナラス、一日其ノ
心ニ満タナケレバナラス、其ノ日ガ總選舉
ノ最後ノ日ニナルト云フコトモ考ヘズニ、
祭政一致内閣ガ左様ナコトヲヤッテ居ルノ
デアリマス、是ハ非常ニ大ナル缺點デゴザ
イマシタガ、斯ウ云フコトガアッタノデゴ
ザイマス、シテ見ルト正義内閣ノ下ニ於テ
モ亦矢張リ之ニ類スルヤウナ過ツタコトガ
アリヤシナイカト云フコトニ付テ私ハ非常
ニ心配ヲ申スノデアリマス、個々ノ問題ニ
付テ辯論的ニ、法律的ニ御答ヲ私ハ此ノ機
會ニハ頼ハナイ、此ノ議席ニハ此ノ帝人事

件ニ關シテハ非常ニ御迷惑ヲ御蒙リニナツ
タ方モオ出デニナル併シ是ハ白日青天、斯
カル事實ナカッタモノデアルト云フ結構ナコト
ガゴザイマスガ、司法大臣ガ豫算總會其ノ
判決ヲ御受ケニナリマシテ、最近ハ高キ勳
章迄御佩用ニナルコトニナツタヤウナ譯デ
アリマス、一面ニ於テサウ云フ結構ナコト
ガ決ヲ御受ケニナリマシテ、最近ハ高キ勳
章迄御佩用ニナルコトニナツタヤウナ譯デ
アリマス、一面ニ於テサウ云フ結構ナコト
トシタナラバ、折角名譽アル勳章モ大キク
御佩用爲サルコト出來ナイコトニナル、
衆議院ニ於テノ御答辯ハソレデ宜シイト致
シマシテモ、此ノ貴族院ニ於テハ此ノ議員
ニ席ヲ列シテ居ラレル所ノ我等ノ先輩ガ、
帝人事件ニハ非常ナル名譽、精神的ニ、色
色ノ方面ニ於テ被害ヲ蒙ツタノデアリマ
ス、デアリマスルカラ私ノ質問ガナクトモ、
是等ノコトニ付テハ法相自身進マレテ世ニ
相當ノ疑惑ヲ流シテ居ルモノガゴザイマスカ
ラ其ノ點ハ十分ニ御説明ニ相成ラケレバ
ナラヌ御立場ニオイデニナルノデアリマス、
私ハ茲ニ帝國辯護士會ナルモノガゴザイマ
シテ、此ノ會ガ去ル二十日ニ決議ヲ致シテ
居リマス、本問題ニ付キマシテ私ハ此ノ
決議ノ全部ヲ是認致シテ居ル譯デハアリマ
セヌガ、帝國辯護士會ト云フモノノ存在、
其ノ權威等カラ考ヘマシテ、此ノ決議文ハ
左様ニ簡單ニ取捨テベキモノデハナイト考
ヘマスルガ故ニ、一應此ノ決議ヲ此處デ讀
マシテ戴キマス「決議、所謂帝人事件ノ檢
察及豫審ニ干與シ非違ノ行動アリタル司法
當局者及司法當局者タリシ者ハ速カニ其ノ
モ一應ハ時間省略ノ爲ニ申上ゲマセヌ、是

御答辯ノ如何ニ依リマシテハ此ノ理由ニ付
テ伺ハナケレバナラヌヤウナ事態ニナラウ
トモ思フノデアリマスガ、ドウカ左様ナコ
トニ相成ラザルヤウ、所謂正義内閣ノ一員
デアツテ、而モ司法大臣トシテオイデニナル
鹽野閣下ノ、御誠意ヨリ出タル所ノ御答
辯ヲ先づ願フ次第デゴザイマス、内相、文
相ニ付キマシテハ引續キ申上ゲルト宜シイ
ノデアリマスガ、事柄ガ餘リニモ縁故ノナ
イコトデゴザイマスカラ、此ノ場合ハ先づ
鹽野法相ニ對スル只今申上ゲタコトニ付
テノ御答辯ヲ願ヒマシテ、更ニ登壇ヲ許サ
レ、他ノ大臣ノ質問ヲ續ケタイト思ヒマス
（國務大臣鹽野季彦君演壇ニ登ル）

○國務大臣（鹽野季彦君）三室戸子爵ノ御

質問ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲマス、御説

ノ通りニ政治ノ基調ハ正義ニ置クベキコト

ハ勿論デゴザイマシテ、司法部ニ於キマシ

テハ殊ニ正義ヲ守シテ、之ヲ顯現スルノガ其

ノ大ナル使命デゴザリマス、只今帝人事件

ニ付キマシテノ御話ガゴザイマシタガ、誠

ニ判決ニ示スガ如ク此ノ事件ハ、長期ニ亘

テ審議ヲ致シマシタ結果、何レモ罪トナラ

ザルコトガ判明致シマシテ、是ガ確定致シ

タノデゴザリマス、其ノ間一般世人竝ニ關聯

係ノ方々ニ非常ニ御迷惑ノ掛ッタコトヲ遺

憾ニ存ズル次第アリマス、尙ソレニ關聯

シテ新聞記事ノ點ニ付テ御一言ニナリマシ

タガ聲明トシテ讀ミ上ゲマシタノデアルカ、

タガ、聲明デアルカ、談話デアルカト云フ

事柄ハ、要スルニ新聞記事ノ文言其ノモノ

アルカト云フ差異ニ過ギナインデゴザイマ

シテ、私ガ衆議院ニ於テ答辯致シマシタル

所ハ、私ノ談話ガ記者ニ依ツテ綴ラレタル

モノデアル、而シテ自分ノ言葉ノ足リナカッ

タ節モアツト見エテ、アノ記事ガ出來テ居

トコトヲ答辯致シタニ過ギナインデ

ゴザリマス、帝國辯護士會ノ決議ニ付キマ

シテハ、其ノ要領ハ事件關係ノ者ノ責任問

題ヲ決議致シテ居ルノデゴザイマス、主ト

シテ此ノ事件ヲ提起致シマシタル檢察當

局ノ責任ヲ問フ決議デゴザイマス、檢

察當局ノ責任ハ申ス迄モナク執チ起訴致シ

マスル當時ニ於ケル證據ノ關係カラ見マシ

テ、犯罪ノ嫌疑ガ十分アルト認メラレマシ

タル場合ニ相當ノ手續ヲ執チ起訴サレテ

居リマスレバ、檢事が與ヘラレタル職權ヲ

行使シタノデゴザリマシテ、決シテソレニ

付テ責任ヲ問フベキ筋合デハナイト考ヘテ

居リマス、尙斯カル事件ガ長年ニ亘リマシ

テ、當該關係者ヲ初メ世人ニ對シテ色々ノ

疑惑ヲ生ゼシタル點ニ付キマシテハ、私

トシテモ甚ダ遺憾ニ存ジテ居ル次第デゴザ

イマス、將來ニ於キマシテハ十分司法事務

ノ運用ニ付キマシテ、過チナカラムコトヲ

期シテ居ル次第デゴザイマス

（子爵三室戸敬光君演壇ニ登ル）

○子爵三室戸敬光君 私ハ御答辯ヲ願ヒマ

スル以前ニ、衆議院デ御答辯ニナッタヤウ

ナ、同ジヤウナ御答ヲ實ハ忌避致シタノデ

アリマス、ソレガ爲ニ正義感ニ基キタル御

答辯ヲ願ヒタイト申シマシタニ拘ラズ、漸

ク只今承ッタ程度ノ御答辯デゴザイマシタ、併

一體昨今ハ官吏ノ責任ト云フモノガ重イ筈

デアル、官吏ノ責任、ソレヲ感ズルコトガ

極メテ冷淡デアリマス、殊ニ司法官ナドハ

最モ嚴正ナル所ニ司法官ノ尊サガアリ、天

皇ノ御名ニ依ツテ仕事ヲ申上ゲルト云フノ

デアリマスルカラ、只今ノ御答辯デハ検事

ノ職權ニ依ツテヤッタノデ、別ニ差支ハナイ

モノデアルト云フヤウナ風ノ御答辯デアリマ

ス、私ハ成ルベク責任問題ニ觸レナイ積リ

致シタノデス、司法大臣ノ方ヨリ此ノ決議

ニ書イテアルコトハ責任ヲ問フノデアル、

併シ其ノ責任ハ少クモ検事ハ與ヘラレタル

職權ヲ行ツタノデアル、成程職權ノ一部ヲ

行ツタノデアリマセウガ、此處ニモ問題ニ

ナッタ、此ノ事件ニ付テ人權蹊蹠ノ問題ガ

此ノ演壇上ヨリモ述べラレタ筈デアリマス、

其ノ人權蹊蹠ハ左様ナコトハナカッタト云

フヤウナ風ノ矢張リ當時説明モアリマシタ

ガ、世ノ多クハ其ノ説明ニハ餘り満足ハ致

シテ居ラナカッタ筈デアリマス、ドウモ昨今

ハ責任ノ窮極スル所ハ、甚ダ遺憾デアツ、

是ハ大乘的ニ考ヘタカラスウデアル、遺憾

デアツタ、大乘的、此ノ二字デ責任ヲ解除ス

ルコトガ世ノ中ノ流行ニナッテ、歷代ノ内閣

イマス、將來ニ於キマシテハ十分司法事務

ノ運用ニ付キマシテ、過チナカラムコトヲ

期シテ居ル次第デゴザイマス

（子爵三室戸敬光君演壇ニ登ル）

○國務大臣（鹽野季彦君）御答ヲ致シマス、

只今御尋ノ點ニ付キマシテハ能ク事情ガ分

ラナノデアリマス、此ノ事柄ハ事件ノ判

斷トハ關係ノナイコトデゴザリマスシ、當

時ノ大臣ガ如何様ニサレタノデアリマスル

カ、之ヲドウト調ベル必要モナイト考ヘテ

居ル次第デアリマス

（子爵三室戸敬光君演壇ニ登ル）

○子爵三室戸敬光君 只今司法大臣ノ御答

辯ハ、何カ斯ウ穴ニデモ入ッテ言ツテ居ラル、ヤ

ウナ御答辯デ、少シモ私ノ伺ツク要旨ニ觸

レナノデス、是ハ是カラ今日續キマシテ、

御尋ヲ致シテモ、御答モ完全ニ御出來ニナ

ラナイト思ヒマス、又承レバ御病後デモア

リマスカラ、其ノ點ニ敬意ヲ表シマシテ、

是デ打切ツテ置ク次第デゴザイマス、次ニ内

務大臣、文部大臣、御兩相ニ伺フノデアリ

マス、事柄ガ相關聯致シテ居リマスノデ、從ツ

テ申上ダルコトモ或事柄ハ内相ニ御説明ヲ
願ヒ、或事柄ニ付テハ文相ノ御答辯ヲ煩ス
ト云フコトニ立至ラウト存ジマスノデ、前以
テ是ハ御断リ申上ダテ置キマス、昨今へ時
力ナガラ豫テ主張致シテ居リマス所ノ國體
勢ノ良イ影響ヲ受ケマンテ、惡イ思想ガ段
段解消サレ、精神總動員下ニ於テ私共ガ微
明微ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、段々
良イ方ニ向ッテ居ルコトハ確カデゴザイ
マスガ、併シソレハ良イ方ニ向ッテ居ルト
云フノミデ、未ダ以テ完全ニ、具體的ニ申
セバ、天皇機關說カラ流派致シテ居ル所ノ
惡イ何物カガ、マダ處々ニアルコトハ事實
デゴザイマス、併シ林内閣以來、祭政一致
ヲ標榜サレ、現内閣ハ精神指導ノ下ニ大イ
ニ御活躍ニナツテ居ルノデアリマシテ、神社
問題等ニ付キマシテモ、段々宜シイ方ニ
シタ人ガゴザイマシダガ、御答モ適切ナ御
答デアツクト存ジテ居リマス、デアリマスカ
ラ是ヨリ御伺スルノヘ、只今ノ帝人事件ニ
付テノ處理ニ付テノ宜シカラナカッタト云
フヤウナ意味ノ風ナ御尋トハ全然違フノデ
ゴザイマス、神社崇敬ト云フコトガ非常ニ
盛ニナツテ參ッテ居リマス、サウ云フ時ニ出
版物等ニ於テ、是ノ反對ノ現象ヲ持ッテ居
ルモノガ公刊サレテ居ルト云フヤウナコト
ガアリハシナイカ、斯ウ云フコトヲ内務大
臣ニ伺ヒタイノデアリマス、又其ノ一つノ
例ト致シマシテ、帝國大學ノ法學部長ニ田
中耕太郎ト云フ、其ノ書物ハ「法ト宗教
居ルノデアリマス、彼ガドウ云フコトヲ言ッ
テ居ルカト云フト、其ノ書物ハ「法ト宗教

ト社會生活ト云フ書物デアリマス、其ノ百三十頁ニ「神社ヲ國民全體トシテ崇拜セシムルハ不可ナリ」、更ニ其ノ次ノ頁ニ「國家ガ神社ニ學部長デアリマス、其ノ著書ノ百三十頁ニ「神社ヲ國民全體トシテ崇拜セシムルハ不可ナリ」、更ニ其ノ次ノ頁ニ「國家ガ神社ニ他ノ宗教ト異ツク特典ヲ與フルハ不可ナリ」ドウ云フ心持テ斯様ナコトヲ書イテ居ルノデアリマスカ、案外斯様ナ書物ヘ賣レルノデアリマス、印稅ヲ取ラムガ爲ニ書イテ居ルノデアルカ、或又此處ニ書イテ居ル通リノ信念ヲ持ツテ居ルノデアルカ、更ニ、百四十五頁ニ「最良ノ方策ハ要スルニ小學校ニ於ケル團體的神社參拜ノ慣習ヲ廢スベシ、神社ヲ國教ト定メ之ヲ強ヒルノハ國民ヲ卑屈ニシ、國民ノ精神生活ノ健全ナル發達ヲ阻害スル云々、斯ウ云フコトヲ言ウテ居ルノデアリマス、繰返シテ申上ゲマスガ、是ハ官デ掩ヘテ居ル東京帝國大學ノ、法學部長田中耕太郎ナル者ガ斯様ナコトヲ書イテ居ルノデアリマス、或ハ彼ニ言ハセマスレバ、先刻ノ司法大臣ト同ジヤウナ答辯ヲスルカモ知レマセス、アレハ話シタノダガ誰カ印刷シタノダト、是デハ人ガ許シマセヌ、斯様ナ書物ガ能ク賣レテ居ル、斯様ナ思想ヲ持ツテ居ル者ガ、今ハ田中耕太郎一人ノ例ヲ申上ゲマシタガ、斯カル例ハ澤山アルノデス、自由主義、何トカ主義ハ何トカノ醜醜地デアル、帝國大學ヘ生産地デアリマス、此ノ内閣ニハ不思議ナコトニ強力ナル閣員中、而モ内務大臣ト文部大臣ガ中途ニ迭ラレタノデアリマス、而モ何レモ前ニ増シテ私ハ力強イ御方ガ閣僚ニ御加ハリニナックトスウ考ヘテ居ル、今申上ゲタヤウナ問題ニ付テハ能ク考慮ラシテ置ク、善處

ヲスル、能ク取調アスルト云フヤウナ御答
辯デナク、積極的ニサウ云フ書物或ハソレ
ニ類似シタル他ノ書物ガ幾ラモアラウト思ヒ
マスガ、サウ云フ物へ急速ニ相當ノ處分ヲ
願ヒタイ、況ヤ今申上ゲタヤウナ神社ニ關
スルコトヲバ本ニ著ハシテ、多クノ人ニ讀
マシテ得々タル輩ガ澤山居ルノデス、私立
大學ニモ無論居リマセウガ、或人ハ昨今ハ
帝大ノ方ニソレガ多イノデアル、斯様ニ申
シテ居ルノデアリマス、私ハ搜査權モ何モ
持ツテ居リマセヌカラ、ドノ程度迄アルト云
フコトハ申上ゲル限リデハアリマセヌガ、
私共ハ左様ナコトヲ非常ニ多ク耳ニ致シテ
居ルノデアリマスカラ、話半分ト承ツテモ斯
員下ノ今日ニ於キマシテ、此ノ力アル内相
文相ハ先ツ以テ帝國大學ニ對シテ大キナ鐵
拳ヲ御下シニナルダケノ御考ガアルカドウ
デアルカ、著書等ニ付キマシテハソレヲ完
全ニ取締ルダケノ御考ヲ御持チニナッテ居
ルカ、否御考デヘナイ、實行力ヲ御持チニ
ナッテ居ルカ、實行ヲ爲サルノデアルカドウ
デアルカ、ソレト反對ニ左様ナ事實ナシト
云フコトデアレバゾレハ誠ニ結構デ、私ハ
此ノ壇上ヲ通ジテ全國民ニ今迄申シタコト
ヲ御託スル外ナインデアリマス、若シ私ノ
申シタコトガ事實ナリストレバ之ニ對スル
處置方法如何、之ヲ伺ヒタイノデアリマス
（國務大臣末次信正君演壇ニ登ル）

田中博士ノ著書ニ甚ダ奇怪ナルコトガ書イテアルガ、如何ニスルカト云フ御問デゴザイマスカ、是ハ能ク事實ヲ調査致シマシテ、事實ヲ確メタ上善處致シタイト思ヒマス、第二ノ帝國大學ノ取締アリマスガ、是モ不都合ナ廉ガアレバ、其ノ取締ニ決シテ遠慮ハ致シマセヌ

（子爵三室戸敬光君演壇ニ登ル）

○子爵三室戸敬光君 簡單明瞭ニ、不都合ナ廉ガアレバ決シテ遠慮ハシナイト斯ウ云フ御答アリマシタ、是レ以外ニハ御答ハ無論ナイノデアリマスガ、此ノ御調ハ左様ニ長ク日ヲ要スルコトハナイト思ヒマス、内務省ノ警保局方面ニ御使ヲ出シニナレバ直グニ此ノ書物ハ出來ルノデアリマス、今私ノ例示致シマシタ他ノ書物ニ付テハ篤ト御調ヲ要スルト思ヒマスガ、今申上ガタコトハ左様ニ篤ト御考慮ヲ煩サナクトモ、一時間程餘裕ガアレバ御調べ出來ルノデアリマスカラ、御調ノ結果ヲ、今日ハ時刻モゴザイマスマイカラ次ノ本會議ノ開會日ニ御様子ヲ承ルコトヲ得マシタナラバ満足ヲ致シマス、尙大學ニ對スル文相ノ御答辯モ煩スノデアリマスガ、餘り度々登リ降リ致シマスルコトハドウカト存ジマスノデ、次ノ質問ヲ致シマスカラ、ソレト同時ニ文部大臣カラ御答辯ヲ煩シタイノデアリマス、今回申上ゲマスノハ極メテムツカシクナイ問題デアルノデアリマス、ソレハ一口ニ申上ゲマスト、我ガ國ハ歴史ノ古イダケニ到ル處ニ尊イ史蹟ノ遺ツテ居ルモノガ數多イト云フコトハ、私が申上ゲル迄モゴザイマヌ、昨今ハ餘程邊陬ノ地ニ參リマシテモ、或ハ大演習ノ當時御統監ニ御立チ遊サレタ松ノ木デアルトカ云フモノ迄モ、聖蹟トシ

官報號外 昭和十三年二月一日 貴族院議事速記錄第八號

一一〇